教育委員提案

学校行事のあり方について

戸田市教育委員会
教　育　政　策　室

学習指導要領　特別活動

〔学校行事〕

１　目 標

全校又は学年の児童（生徒）で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第１の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。

２　内 容

１の資質・能力を育成するため、すべての学年において、全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行うことを通して、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考えて実践できるように指導する。

学習指導要領　特別活動

２　内 容

（１）儀式的行事　　（２）文化的行事

（３）健康安全・体育的行事　　（４）旅行・集団宿泊的行事

（５）勤労生産・奉仕的行事

３　内容の取扱い

児童（生徒）や学校、地域の状況に応じて、２に示す行事の種類ごとに、行事及びその**内容を重点化する**とともに、各行事の趣旨を生かした上で、行事間の関連や統合を図るなどの精選して実施すること。また、**実施に当たっては、自然体験や社会体験などの体験活動を充実する**とともに、体験活動を通して気付いたことなどを振り返り、まとめたり、発表し合ったりするなどの事後の活動を充実すること。

学校行事

★学校行事のよいところ
①体験活動の充実
②集団への所属感や連帯感の高まり
③自己有用感の向上、他者の尊重
④役割を担う機会や協働する場の確保
⑤実践的な学習
⑥伝統や文化の理解
⑦学習成果の発表の場となる



▲学校行事の課題
①準備に時間がかかる
②指導に熱が入りすぎることで、他のことが疎かになる
③授業時数の確保という制約の中で、学校生活全体のゆとりを維持することが難しくなる
④地域や保護者の願いがあるので、すぐには変えられない

学校行事

◆保護者や地域の願い

◆学校現場の思い



★課題解決の一つとして★

・コミュニティスクールで協議を行い、保護者や地域の願いと学校現場の思いの調和を図っている。

・校長会議のピアレビューでの情報共有により、各学校の行事に差が生じないようにバランスをとっている。

★学校行事のよいところと▲学校行事の課題を踏まえて、各学校では工夫した取組を進めている。

市内の取組例（運動会・体育祭）

【運動会・体育祭】



▶開催方法

午前開催、ブロック開催　等で実施

・熱中症の予防、暑さ対策

▶運営方法

・子供が主体となる行事、教科の学びを生かす行事となるようにしている。

例）体育「表現」のダンスの振り付けを子供が考えて、教え合う。

司会等を子供が主体となって行う。



・PTAや地域・保護者ボランティアによる会場設営

市内の取組例（その他）

【持久走大会】

▶個々の距離の更新へ
順位やタイムを競う形式から個々の距離を伸ばす形式へ



【音　楽　会】

▶学年ごとの開催
感染症の感染リスクを軽減（開催時期も他の行事と重ならない中での実施）

この他、卒業式などを中心に
「過度な練習時間を必要としない（授業時間内で完結）」
「学習指導要領に記載の内容」　行事運営を行っている

今後について

現状

▶限られた時数での準備・限られた時間での発表
▶各学校で行事の精選も進んでいる

今後さらに推進

○目的を明確にし、計画的な行事設計
○より子供主体な学びの場や運営
○持続可能なスケジュール・体制づくり
○インクルーシブで誰もが参加できる工夫

学校行事を今まで学んできたことを発揮する場として、子供一人ひとりが輝ける場にしていく。行事は、学校と家庭・地域をつなぐ重要な文化でもあるからこそ、「やりがい」と「負担」のバランスを検討しながら、今後もその在り方を模索していく。